令和元年9月16日発行 下水道局 **239-1030 239-1037**

市民の皆さんに津市の下水道事業をもっと知っていただくため、課題や経営状況についてシ リーズでお伝えしています。前回までの下水道局だよりでは、津市の汚水処理の状況や下水道 使用料の現状について紹介しました。

第6回は下水道使用料の見直しについてお話しします。

下水道使用料の見直し

今年の10月1日から下水道使用料が変わ るんだ。

前にも話したけど、平成18年1月1日の市町 村合併のときに、暮らしに密接に関係する料金 は、低い価格に統一する方向で調整されたんだ。 下水道使用料はそれから13年間変えていなかっ たから見直すことになったんだよ。

🌉 使用料を安くできていたのは、みんなの税 金で賄うことを前提としていたからなんだよね。

今のままでは一般会計からの繰入金という かたちで下水道を使用できない地域の皆さんの税 金を今後も使うことになるから、その負担を減ら して汚水処理費用は使用料で賄うという本来のか たちに近づけようということになったんだ。

汚水処理に必要な費用だけでも8億円足り なかったんじゃなかった?

そう! 平成29年度は汚れた水をきれいに するために23億円かかったんだけど、使用料収 入は15億円で、8億円も不足していたんだ。

今までの使用料では全然足りないね。

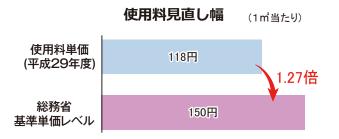
処理した水1m3半たりの原価で見ると177 円だったのに対して、使用料は1㎡当たりの単価 が118円だったから、59円不足していたんだ。

汚水処理原価と使用料単価の比較 (平成29年度決算値)

(1㎡当たり) 177円 汚水処理原価 (全体で23億円) 59円 不足額 118円 使用料単価 (全体で15億円) (全体で8億円)

不足分を全て使用料で賄おうとすると、使 用料を1.5倍にしないといけないっていうことに なるのかな?

そうなんだ。でも、皆さんの負担がとても 大きくなってしまうから、今回は総務省が基準に している 1 ㎡当たり150円を日安にして見直すこ とにしたんだ。



使用料単価が1㎡当たり150円ということ は、今の使用料の1.27倍だね。

4億円くらい使用料収入が増えるから、本 来必要な分の半分くらいは賄えるんだよ。

みんなの税負担はどのくらいになるのか

税負担は汚水処理に必要な費用以外もある んだけど、今回使用料を見直しても平成29年度 の実績に置き換えると、市民1人当たり年間約 4.300円の税負担をお願いすることになるんだ。

🌌 まだまだ、税負担はなくならないんだね。 これからも汚水処理費用は使用料で賄うという本 来のかたちに近づくように考えていかないといけ ないね。